

令和7年2月3日(月) 令和6年度 第10号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷町 1991 電話：048 (651) 4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す生徒像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、  
生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校

—大好きTAIHEI—

## 「叶う」

校長 宮内和典

寒さの厳しい日々が続いていますが、2月3日には立春を迎えます。日の入りの時刻は、日に日に遅くなっており、着実に春が近づいていることが感じられます。

さて、生徒のみなさんは、このような言葉を知っていますか。

- ・自分の現在をつくったのは、今まで耳にしてきた言葉
- ・自分の未来をつくるのは、自分が発する日々の言葉

1つ目の「自分の現在をつくったのは、今まで耳にしてきた言葉」というのは、みなさんは、生活をしていく中で多くの言葉を耳にします。その言葉に、時には励まされ、時には喜び、時には感動し、時には傷つくなど、今まで多くの思いを受け止めてきたことと思います。その耳にした言葉の積み重ねが現在の自分をつくっているということです。

それでは、2つ目の「自分の未来をつくるのは、自分が発する日々の言葉」というのは、どのような意味なのでしょう。自分が発する言葉をもっとも多く耳にするのは誰なのかと考えると、他でもない自分自身です。そこで、自分の言葉を前向きでポジティブなものにしていくことで、それを毎回耳にし、前向きでポジティブな気持ちを自分自身でつくっていくことができるということです。生活をしていく中で、多くの葛藤や不安で慣れないうちは、+：プラスの言葉や、-：マイナスな言葉を口から「吐く」ことが沢山あると思います。この「吐く」という漢字のように、口から+も-も吐き出し、最終的には、自分自身の口から+な言葉（ポジティブ）な言葉だけを言えるようになれば「叶う」という漢字のように、口にて+で「夢は口に出せば叶う」ようになっていくかもしれません。

この時期は、春に向けて多くの希望が芽吹くための準備段階であり、生徒の皆さんにとって、経験がなく想像しにくいことについては、新しいことへの不安、未来への不安が、言葉や態度、又は行動として出てくる時期でもあり、気持ちもマイナスになることもあります。そんな時こそ、自分自身がポジティブな言葉をたくさん発して、互いに励まし合える良好な人間関係をつくと共に、3年生は進路や卒業に向けて、2年生は最上級生に向けて、1年生は先輩になるということに向けて、学年や学級の雰囲気を作り、前向きでポジティブな未来に向けて動き出してもらえればと思います。

保護者の皆様におかれましても、立派に育ててほしいという期待感があるから、一生懸命になり、どのような言葉を掛けるか悩むと思いますが、引き続き、子どもたちへの、日常の言葉かけには、「努力を認める視点」と「ポジティブな表現」を盛り込むことをよろしくお願いたします。